

稲敷市では、土砂災害に対し市民の皆様がすばやく安全な場所に避難し、被害を最小限に抑えることを目的に「土砂災害ハザードマップ」を作成しました。土砂災害危険箇所、避難場所、避難経路、災害に関する知識などをこのハザードマップを用いて確認してください。

お問い合わせ先：「稲敷市 総務部 危機管理課」 TEL：029-892-2000(代) / FAX：029-893-1571
〒300-0595 茨城県稲敷市犬塚1570-1 URL：http://www.city.inashiki.lg.jp/

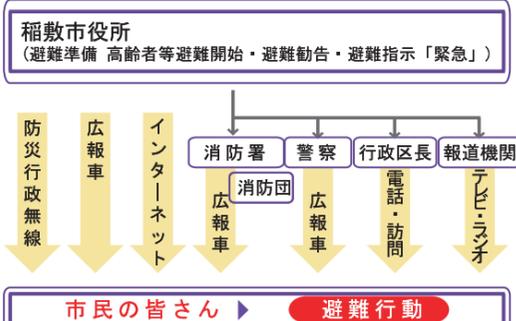
我が家の防災メモ

家族で相談し、連絡先や避難場所などを書き込みましょう。

年	月	日	名前	生年月日	血液型	連絡先
■わが家の避難場所						
■家族の集合場所						
■緊急連絡先						
■メモ欄						

※災害時は電話がつながりづらい場合があるので、メールも有効な手段です。

避難情報伝達の流れ



避難情報について

種類	避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告	避難指示(緊急)
発令時の状況	土砂災害危険区域の巡視により、近隣で前兆現象(湧水量の増加、表面流の発生)が確認された場合	土砂災害警戒情報が発令され、土砂災害危険区域の巡視により、近隣で前兆現象(小石がばらばら落下、新たな湧水発生、湧水の濁り)が確認された場合	近隣で土砂移動現象、前兆現象(湧水の停止や噴き出し、亀裂の発生、斜面のはらみだし、小石がぼろぼろ落下、地鳴り)が確認された場合
とるべき行動	避難に時間を要する人(高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難を開始しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	速やかに避難場所へ避難をしましょう。	まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難をしましょう。

低 緊急の度合い 高

※避難情報が発令されなくても、身の回りの状況を見て、危険な状況の場合は、自主的に早めの避難を心がけて下さい。
※外出することで命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

危険な雨の降り方と強さの目安

<p>激しい雨</p> <p>1時間に30~50mm</p> <p>バケツをひっくり返したような激しい雨。道路規制も行われ、避難の準備が必要です。</p>	<p>非常に激しい雨</p> <p>1時間に50~80mm</p> <p>滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。河川があふれる可能性がある激しい雨です。</p>	<p>猛烈な雨</p> <p>1時間に80mm以上</p> <p>滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。車や家屋等が水に浸かる可能性が強く、嚴重な警戒が必要です。</p>
--	--	---

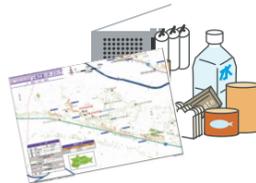
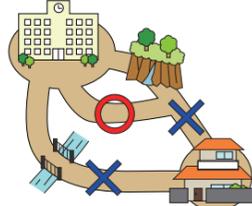
避難時の注意点

風や雨が強くなってきたら、TVやラジオ、インターネットで情報を収集しましょう。



1人で避難せずに、隣近所と声を掛け合いながら避難しましょう。

裏面の危険箇所や浸水箇所を確認し、安全なルートで避難しましょう。



非常時持ち出し品と一緒にハザードマップを持って避難しましょう。

避難時の持ち物

避難時には次のようなものがあると便利です。これらは、土砂災害以外の災害時にも役立ちます。日頃から、準備・点検しておきましょう。

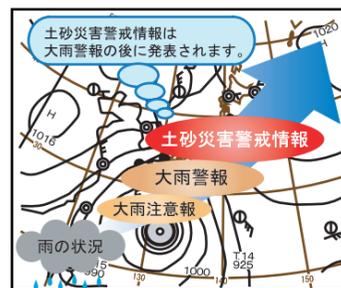


気象、災害等の情報収集

土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害を防ぐために、

- 1 住民の皆さんの避難準備や自主避難の判断
- 2 市町村の避難勧告や避難指示等の発令を支援する情報です。降雨の状況や今後の予測などから、茨城県と水戸地方気象台が連携して発表します。発表は市町村ごとに行われます。土砂災害警戒情報が発表されたときは非常に危険な状態です。



土砂災害警戒情報が発表されていない場合でも、以下の状況になった場合は、自主的な避難を心がけて下さい。

- 前日までの連続雨量が100mmを超え、当日の日雨量が50mmを超えた場合。
- 前日までの連続雨量が40~100mmで、当日の日雨量が80mmを超えた場合。

※前日まで降雨がない場合でも、当日の日雨量が100mmを超えた場合は、注意が必要です。

土砂災害の種類

地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる現象ががけ崩れです。突発的に起こり、瞬時に崩れ落ちるので、逃げ遅れる人も多く、被害が大きくなります。

谷や斜面に溜まった土や石、砂などが、大雨による水と一緒に一気に流れ出して発生します。破壊力が大きく、また流れる速度が速いため、大きな被害をもたらします。

比較的緩やかな斜面において、地中の粘土層などのすべり難い面が地下水などの影響で、ゆっくりと動き出す現象です。一気に広範囲で発生するため、住宅や道路、鉄道などに大きな被害を及ぼします。

<p>がけ崩れ</p> <p>土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域とは</p>	<p>●土砂災害警戒区域は、土砂災害のおそれがある区域で、住民の生命又は身体に危害の生じるおそれがある区域です。</p> <p>●土砂災害特別警戒区域は、土砂災害警戒区域のうち、建築物に破損が生じ、住民の生命又は身体に著しい危険の生じるおそれがある区域です。</p>
---	---

土砂災害の前兆現象

<p>がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)</p> <p>がけから水が噴き出す。 がけからの水が濁る。 小石がパラパラと落ちて、がけから音がする。</p>	<p>土石流</p> <p>山鳴りや立ち木の裂ける音が聞こえる。 石のぶつかり合う音が聞こえる。 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。 川の水が急に濁ったり、流木が流れてくる。 泥臭いにおいが漂う。</p>	<p>地すべり</p> <p>山腹や地面にひび割れができる。 山腹や地面に段差ができる。 沢や井戸の水が濁る。 斜面や地面から水が噴き出す。 建物や電柱、樹木が傾く。 井戸や野池の水かさが増える。</p>
---	---	---